

あゆり

財団法人 会田病院広報誌

2010年 1月号

●発行●
(財)会田病院●編集●
あゆり編集委員会

2010年1月10日発行

「新しきとしのはじめに
あうた
思ふどち いむれてをれば
うれしくもあるか」

万葉集の歌を書きました。
何とはなしに会田病院のまわりに
人々がむれて居れば、楽しい
うれしかるべきことかと思います。



【表紙】書:リハビリテーション科 部長 佐々木 幹人医師

- 年頭のご挨拶 2 P
- 新年を迎えて 3 P
- ようこそ診察室へ 4 P
- 歳末助け合いバザーを開催 4 P
- 永年勤続表彰 5 P
- 職員募集 5 P
- 医療講演を開催 5 P

- 地域連携登録医療機関のご紹介 6 P
- 健康によい献立 6 P
- お悔やみ 6 P
- Photo News 7 P
- 編集後記 7 P
- 外来診察担当のご案内 8 P
- 無料送迎バスのご案内 8 P



年頭のご挨拶

『信頼される確かな医療をめざして』 理事長会田 征彦

財團法人
会田病院の理念

かけがえのない、
ひとり一人の



明けましておめでとうございます。

病院職員の皆様には一〇〇年の元旦をご家族と共に健康で希望に満ちた気持ちで迎えられましたことと心からお慶び申し上げます。

一九四六年(昭和二十二年)に病院開設以来、先代理事長が掲げ灯した全人的医療の信念を守り続けながら地域の皆様にささえられ、先輩職員からタスキを継いで厳しい医業環境の中、六十四年の歴史を刻むことが出来ました事に心から感謝申し上げます。

人々が常に健康で豊かな生活が出来るよう願うのは永遠のテーマであり、私達医療にたずさわる者は、どのような状況下にあっても人々の健康を守り、病院の克服に立ち向かうという基本的使命を実践することによって社会的責任を果たすよう求められています。すなわち、「患者満足度の高い、良質な医療を提供できる病院づくりに最大限努力をして地域社会に貢献すること」が基本的使命であり、これこそが財團法人会田病院の基本理念であります。

具体的な今年の事業目標は、

- 一、良質な医療を安全に効率良く提供できる体制の確立
- ・職員の資質向上と教育の徹底
- ・医療情報システムの推進
- ・職員満足度の向上対策
- 二、地域連携室の機能強化と病院・診療所との連携推進
- ・病床管理体制強化

三、院内各部門の横断的連携強化によるチーム医療の推進

四、外来診療棟建設プロジェクト

五、病院のあり方検討

・ダウンサイジング促進

・診療科目検討

・法人事務局強化

・経営基盤の確立

六、地域社会との融合推進

七、リハビリテーション、介護福祉部門の機能充実

平成十二年に他界された故水戸金正顧問の墓碑には故人の意思により「無信不立」すなわち、信無くば立たずの四文字が刻まれています。信とは広辞苑にはあざむかないこととあります。

職員相互はもちろん、病院スタッフと患者さんやその家族との信頼関係無くして明日の病院は無いと思わなければなりません。常に感謝の心を持ち、母親がわが子に与えるような無償の愛をささげれば、きっと心に響く感動を伝えることができるはずです。

医師をはじめ病院の全スタッフが患者さんに対して、わが親兄弟を思いやるような気持ちで接することで医療人としての品格をみがき、それぞれの役割と責任を果たしながら日々の業務を実践していくれば必ず明るい明日の病院が見えてくると確信いたします。

- 四、患者さんの権利と、
その意思を尊重する
- 五、高い理想を持ちづけ、
自己研鑽を怠らない

会田病院の基本方針

命と健康を守るために、
最良の医療を提供し、

保健・医療・介護・福祉の
充実をはかり、
地域社会に貢献します

地域社会に貢献します
充実をはかり、
地域社会に貢献します

一、患者さんを第一に考え、
地域の信頼を得る

二、基幹病院として、
地域と連携を密にする

三、医療の安全管理に
最大限努力する

四、患者さんの権利と、
その意思を尊重する

五、高い理想を持ちづけ、
自己研鑽を怠らない

2010年

新年を迎えて



寅



年頭に当つて

明けましておめでとうございます。

国内外で、厳しい状況ですが、皆様にとりまして、良い年でありますよう、お祈りいたします。

さて、会田病院は、この様な厳しい状況の中での今年は新外来棟の建設という大きなプロジェクトを行つてあります。

補助金を頃いての建設という事で、建設に多少の制約はある様ですが、目先に囚われる事なく、五年・十年先の会田病院を見据えた外来棟の建設を目指したプロジェクトを組んでいかなければならぬと思つています。よろしく御協力の程お願いいたします。

副院長 小池 荘介



新年明けましておめでとうございます。 今年も宜しくお願ひ致します。

社会の成熟度と個人の成熟度は反比例すると云う持論をもつてゐる人がおりますが、物質的に満たされた社会では心が満たされなくなるとのことはあたりまえのことです。

インフラが整備され物質的充足で生きやすい社会になつてくると結婚しなくとも家庭をもたなくともサバイバルには何の不都合はありません。

又学業も終つて就職して安心すると、その後は自己研鑽せず職場で生きている人がいますが、これは日進月歩の医療の世界では許されないことです。会田病院の基本方針第『五』に反するかと思われます。心あたりの人は??

今後、皆さんと共に自己研鑽して冬の時代の病院に春を迎える為にも特徴ある地域の人々に頼られる病院をきずいていければと思ひます。



新年あけましておめでとうございます。

看護部長に就任し今年で五年目を迎えます。病院理念のもと、一人ひとりが目標を持ち、生き生きと働き続けられ、患者様・利用者様に安全で満足いく最良のケアが提供できる事を目指し、様々な取組みを行つてきました。二つには、人材育成です。人は財産なりと言われます。看護職員一人ひとりが役割を自覚し、責任を持ち自律した行動がとれる人に育てる事です。そうする事で、地域住民の皆様にいつでも、誰もが最良の医療を提供する事ができると思います。二つ目には、当院を選んで頂いた患者様、利用者様に最良なケアを受けて頂く事です。その為に、私は現場をラウンドし、自分の目・耳で見て聞き患者様ご家族様そして職員の皆様と共に問題等を考えていく事でできる、大切なコミュニケーションの場であると思っております。

私の座右の銘「やつてみせ、いつて聞かせて、させてみて、ほめてやらねば人は動かじ」人はそれぞれの心に従つて動いています。相手の心を動かす為に看護部のリーダーとして目標に向かって気を抜かず、今年一年努力してまいりますので、宜しくお願ひします。

看護部長 遠山 正子



文章を書いて編集委員会に提出したら、突然前副理事長の篠田四郎氏が亡くなつたというお知らせが入りました。

篠田理事の思い出を走馬灯のように脳裏を駆け巡り、あゆりをめぐつていまつたら平成十三年に篠田理事が投函した『職業人としての誇り』をと言う文章が見つかりました。

『お互い病院職員としてのプロ意識を昂め、信頼感に満ち、コミュニケーションの良い病院の院風を大事に、職業を通じて地域の医療、ひいては地域の文化に貢献すると言う誇りを確かにしたいものです。

山を二つ超えるとまたその向こうに山がある。人生も病院も同じようです。創業者の哲学「地域に信頼される最良の医療」を院是として意欲的なスタートをしましよう』

篠田理事を思いだして、もう一度この言葉をかみ締めて、平成二十二年のスタートを切りたいと思います。

副院長 畑 穆

事務長影山 敏男

よつ
こそ

診察室



二年前から当院
皮膚科を担当して
おりますが、ご年
配の方や寝たきり
の方の褥瘡（どこ
ずれ）をよく診察します。重症の褥瘡で
は入院治療を行っています。



院内では褥瘡対策委員
会が設置されており、医師、
看護師、管理栄養士、薬
剤師、理学療法士、作業
療法士、医療事務、ケア
マネージャーなどが積極
的に参加しています。患
者様の状態に合わせて必
要なカロリー算出を管理
栄養士が、有効な薬剤選
択を薬剤師が、運動療法
などをリハビリテーション

ノン科が、データ処理を医療事務が、病棟
での診療を医師・看護師が担当していま
す。退院前には生活環境をケアマネージ
ャーが治療・予防法を担当職員が介護者
に指導しています。高度な医療を提供で
きるように、各職域が専門性を活かして
褥瘡の治療にあたっています。

医療従事者間で良好なチー
ム関係を築き、より一層地
域医療に貢献できるよう尽
力したいと思います。

当科では皮膚病全般（か
ゆみ、水虫、乾燥症状など）
を診察しております。いぼ
等への液体窒素療法、小外
科手術（形成外科とも連携）

も行っていますので遠慮な
くご相談ください。

皮膚科医師水上 潤哉

会田病院看護部主催『第四回歳末助け合いバザー』は、十二月十一日（金）当院地域連携室において開かれました。

院長始め多くの職員から、食器類や、衣類、洗剤、ぬいぐるみ、バスタオル、コーヒー、野菜など三〇〇点以上寄せられ会場所狭しと彩りました。午前九時に開場し地域住民の方々、患者様、職員ほか来院者大勢に出品物が完売するほど好評でした。

収益金五〇,〇七〇円は、前年同様矢吹町社会福祉協議会へ寄附致しました。町の福祉のために役立て欲しいと要望しました。

出品に際し、外来患者様からの御協力をいたきました。皆々様から御協力ありがとうございました。

ただ誠にありがとうございました。

イベント委員長
阿部 サチ子



みんなの善意届ける

歳末助け合いバザーを開催



職員募集!

平成22年度にむけて
職員を募集しております。



職種については
病院HPをご覧下さい



財団法人 会田病院

人事課までお問合せください

☎0248-42-2121

<http://www.aida-hp.or.jp/>

永年勤続表彰

十二月十八日、十年勤続表彰を行いました。

健康管理部長 医師 竹内 方志

薬剤科長 薬剤師 吉岡 正明

五病棟看護長 看護師 野内 正江
検査科 臨床検査技師 安藤 梓



医療講演開催される

矢吹町にありますアネスト岩田（株）福島工場安全衛生委員会事務局浮田様より、講演の依頼を頂き、去る十月十五日（木）午後五時より一時間開催されました。

受講対象者は同工場の安全衛生委員会のメンバーを中心に約四十名の方々が出席されました。講師は、当院健康管理部長の竹内医師が担当しました。

開演に先立ち、同工場の生産技術品証グループの高原マネージャー様よりご挨拶があり、いよいよ開演となりました。

新型インフルエンザ対策及びメタボ症候群について講演があり、ウイルスと細菌の違いやその特性について、また咳エチケットマナーの必要性についても述べられ、質疑応答もあり、和やかな雰囲気の中、終演となりました。

健康管理部 主任 伊勢野 優



当院では出前健康講座を実施していますので、地域連携室までお気軽にご相談下さい。

地域連携登録医療機関のご紹介



私自身、大分県の別府より越して
來ての開業のため、当初は環境や習
慣の違いに戸惑
いもありましたが、
温かい患者さん
とスタッフに囲ま
れ、無事、開業一
周年を迎えるこ
とができました。

現在は内科全
般、人工透析、消



鏡石クリニック	
院長	和田 知益
標榜科	内科・消化器内科・人工透析内科
住所	〒969-0401 福島県岩瀬郡鏡石町本町201-3
電話	0248-92-2113



一昨年、平成二十年十二月一日に、
鏡石町の岩瀬牧場通りに開業致しま
した。

私自身、大分県の別府より越して

來ての開業のため、当初は環境や習
慣の違いに戸惑
いもありましたが、
温かい患者さん
とスタッフに囲ま
れ、無事、開業一
周年を迎えるこ
とができました。

化器内科、老人医療、在宅医療や予
防医療にも力をいれております。
微力ではございますが、地域に密着
した、あたたかく確かな医療を提供
できるクリニックを目指しております
ので、宜しくお願い申し上げます。

当クリニックは矢吹町に近いことも
あり、矢吹町方面からの患者さんも
多數来院して頂いております。会田
病院との提携は非常に強力なサポー
トとなつております。会田

今後も、安心できる地域医療体制
確立のため、会田病院の皆様方のご
協力を宜しくお願い致します。会田
病院の益々のご発展を期待致してお
ります。

K鏡石クリニック

院長 医学博士 和田 知益

わだ ちえき

栄養科

健康によい献立

豆乳シチュー

お正月に「三日とろろ」と言われ、長芋を食しますが、これは、粘り成分の一つのムチンが、消化吸収を助け、胃の粘膜を保護する働きがあるので、食べ過ぎてもたれた胃を守ります。また、滋養強壮や疲労回復に大きな効果を発揮するため、レンコンと一緒に摂れば、かぜ予防に効果大。さらに、煮込むことで体を温め、冷えを解消します。

【作り方】

- ①さいの目切りにした玉ねぎ、レンコン、長芋を煮る。
- ②ある程度火が通ったら、大豆、さいの目切りにしたブロッコリー、カブを加え、煮る。
- ③シチューの素と豆乳を加え煮たて、塩・こしょうで味をととのえる。



【材料】(4人分)

大豆(ドライパック)	100g
玉ねぎ	100g
長芋	100g
カブ	100g
ブロッコリー	100g
レンコン	100g
水	適量
豆乳	200cc
シチューの素	2かけ
塩・こしょう	少々

お悔やみ

長年に亘り、当財團の理事を務めておりましたお一人の理事が他界され
ました。心よりご冥福と故人の功績を偲び哀悼の意を表し、謹んでお知らせ申
上げます。

◆理事 今泉 正顕 氏 平成二十一年九月二十八日逝去



Photo News



編集後記



新年明けましておめでとうございます。

いきなりではありますが、何故、一年は一月で始まり、二月で終わるのに、年度は四月で始まり、三月で終わるのでしょうか？長年疑問に思っていました。誰か分かる方、是非教えて下さい。

話は変わりますが、昨年の漢字は「新」とのことでした。新政権誕生、裁判員制度が新しく始動、新型インフルエンザの猛威と、当に「新」に象徴された一年でありました。会田病院でも新型インフルエンザの影響もあり、慌ただしい年末となりました。新たな年を迎えるまだ続いている厳しい医療情勢ではありますが、患者様により良い医療サービスを提供出来る様職員一同となり努力したいと思います。

(S.H)

外来診察担当のご案内

受付時間

平日

土曜

お問い合わせ TEL 0248(42)2121

※日によって診察時間が変わることがありますので、
詳細はお問い合わせください。

午前8:30~11:30 午前8:30~11:30

午後1:00~ 4:30

平成22年1月1日現在

※福島医大:福島県立医科大学

曜日 科	月	火	水	木	金	土	備考
内科	1診 小池 莊介	森崎 倫彦	小池 大介	森崎 倫彦	小池 莊介	小池 莊介	草野医師診察日 月1回
消化器科	2診			草野 英二	会田 征彦		
呼吸器科	3診 会田 征彦	会田 征彦	垣花 昌俊	臼田 実男	畠 穆	畠 穆 高崎 克哲	
内科	午後			風間 逸郎			風間医師診察日 月2回
心療内科	午前				野村 邦朗		野村医師診察日 月2回
外科	午前 古河 浩	福島医大	福島医大	古河 浩	古河 浩 福島医大	古河 浩	
総合診療	午後のみ 山田 理恵子 片場 嘉明	森崎 倫彦	福島医大 星野 正巳	森崎 倫彦	高崎 克哲 福島医大		内科外来にて診察
整形外科	午前 長谷川 美規	湯澤 斎			会田 北斗		
眼科	山下 由佳子	石丸 慎平			須田 雄三		
泌尿器科	福島医大						第2・4月曜日診察 (予約制)
脳神経外科		伊澤 仁之					
皮膚科			水上 潤哉				
婦人科	高崎 克哲		高崎 克哲				
形成外科	上田 和毅						
リハビリテーション科	佐々木 幹人 真野 英寿	佐々木 幹人	佐々木 幹人	佐々木 幹人	佐々木 幹人	佐々木 幹人	真野医師診察日 月2回 内科2診

無料送迎バスのご案内

●迎えバスを利用する方は、

前日までに電話で予約してください。

安全運転でお迎えいたします。

TEL 0248(42)2121

予約 月～金 9:00～16:00
時間帯 土 9:00～12:00

※時間どおりの運行を心がけておりますが、道路状況により
多少遅れることができます。あらかじめご了承ください。

●送りバス

病院出発時間

月～金曜日	土曜日
11時00分	10時30分
12時00分	11時30分
13時30分	12時30分
14時30分	15時30分
	新車になりました



財団法人 会田病院

The Foundation Aida Hospital

理事長・院長 会田 征彦

〒969-0213 西白河郡矢吹町本町216
TEL 0248-42-2121
FAX 0248-42-2348

■併設

健診センター

〒969-0213
西白河郡矢吹町本町216
TEL 0248(42)3592
FAX 0248(42)2226

■併設

すみれ訪問看護 ステーション

〒969-0213
西白河郡矢吹町本町216
TEL 0248(44)2566(FAX兼)

指定居宅療養管理指導
事業所(往診)
TEL 0248(42)5407

■併設

すみれ介護相談 センター

〒969-0213
西白河郡矢吹町本町216
TEL 0248(42)3755
FAX 0248(42)3781

■併設

会田病院 ヘルパーサービス

〒969-0213
西白河郡矢吹町本町216
TEL 0248(42)2305(FAX兼)

■併設

会田通所 リハビリテーション

〒969-0213
西白河郡矢吹町本町260
TEL 0248(42)2260
FAX 0248(42)2135